令和３年４月21日

世田谷区長　保坂　展人　殿

公益社団法人　東京都助産師会
会　長　　片岡　弥恵子
世田谷目黒地区分会長　林　　江美

2022度　世田谷区予算等
助産・母子保健関係に対する要望書

With コロナ生活の中で、子育て不安、産後うつ、虐待など子育てを取り巻く諸問題が益々顕著化している中、女性や子ども、家族にとって最も近い場所で、継続的なケアを提供できる助産師の役割は必要かつ重要です。且つ助産技術のみならず、IT に駆使したメディアリテラシー教育も必須となってきております。 公益社団法人東京都助産師会世田谷目黒地区分会では、助産師職の専門団体として、次代を担う子どもたちを安心して産み育てられる社会をめざし、妊娠・出産・育児に対する支援および、女性と家族の健康支援に取り組んでおります。助産師による一層充実した母子保健サービスの提供等が推進されるよう、以下の４項目を要望いたします。

新型コロナウイルス感染防止に対する地域の母子保健事業活動の変更で生じた問題の解決について、以下のように要望いたします。

要望事項

１．妊娠・出産を経験する産前産後のすべての女性とその家族、里親・LGBT 家族における養育者のケア・支援サービスを平等に利用できるよう支援されたい。また、地域で親子（LGBT 家族や里親も含む）を支援する助産師の参画が推進されるよう区に周知を図られたい。

２．避難所運営スタッフの対応マニュアルの作成と教育、人員確保のためのシステムの構築を図られたい。

３．成長発達段階に応じた次世代育成の為の「いのちの教育」講座の実施を図られたい。

４．ＩＴを活用した母子支援実施の指示、環境整備、ならびに予算措置を図られたい。

要望理由

１．妊娠・出産を経験する産前産後のすべての女性とその家族や、里親・LGBT家族における養育者のケア・支援サービスを平等に利用できるよう支援されたい。また、地域で親子（LGBT 家族や里親も含む）を支援する助産師の参画が推進されるよう区に周知を図られたい。

（１）すべての養育者に産後ケアが受けられるよう事業の実施を図られたい （２）実親以外の養父母も産後ケアの支援が受けられるように図られたい （３）LGBT に関する アライ活動の具体的な取り組みを図られたい

当会では、成長発達段階に応じた次世代育成の為の「いのちの教育」を実施しているが、この教育では、『包括的セクシャリティ教育』を目指している。その中で、価値観、人権、文化、セクシャリティ、ジェンダーのカリキュラムも入っており、当会でも 2019 年には、LGBT パレードへの参加や、2020 年には「LGBT かぞくの子育て」と題し、オンラインで LGBT の方々との交流会を実施し研鑽している。その中で見えてきた課題が、すべての養育者に対する産後ケアの実施である。少数ではあるが、LGBT という事で母子保健サービスを受けられなかった養育者もいた。

「性的マイノリティ支援のための暮らしと意識に関する実態調査」報告書では、「医療や福祉で､法律上の夫婦･家族と同等のサービスや扱いを受けたい」という LGBT の方々は約９割にも及ぶが、まだまだ医療や福祉のサービスが行き届いていない実態もある。

渋谷区では、「しぶやレインボー宣言」POP を交付しているが、当事者がカミングアウトしづらく声を上げにくい中、当事者以外のアライ※１による平等を求める声が、LGBT も生きづらくない多様性社会実現の大きなカギとなりうる。ましてや、その子どもたちが生きづらくない環境を整えていく事は、「生・性」を扱う職能団体として大切な事と考えている。

具体的には、①性的指向・性的自認等に基づくハラスメントや差別の禁止を、所内規定等に具体的な明記、②セミナー等の開催、③ハード面での子育て支援施設の環境の整備、（性別を問わないトイレを設置するなど）、④LGBT に関する当事者への理解を促すパンフレットや産後ケア施設をはじめとする子育て支援施設に虹色の卓上コーン、バナー、ステッカーなどを作成・配布である。

里親に関しても、産後ではないが、育児不安や育児疲れなどのレスパイトとして産後ケアを受けられる体制つくりも必要と考える。

※1 アライとは　アライアンス（alliance）の動詞形 Ally

同盟　連合　提携　縁組　それぞれ異なる立場の個人や団体が協力関係を築くこと

２．福祉避難所（母子）におけるスタッフ対応マニュアルの作成と教育、人員確保の為の災害時連携システムの構築と処遇の改善を図られたい

（１）感染症災害が発災している現在、感染拡大を防止するための工夫を行いながら母子を支援する取り組みについてマニュアル集を作成されたい
（２）福祉避難所（母子）及び避難所の支援スタッフが安全に母子を支援できる様に研修を図られたい。当会がその責を追い、研修マニュアルを作成し研修を実施する場合は、予算措置を図られたい。

コロナ禍となり、当地区分会では、訪問に従事する助産師に対し、「新型コロナウイルス感染症に対する助産師訪問従事者の対応について」2020.4. 19 現在を作成し、世田谷区はもとより全国の助産師にこのガイドラインを活用していただくことができました。平素から速やかな医療的判断の対応が出来る支援の在り方を考えておく必要性が迫っています。発災時には助産師を 24 時間配置することは不可能です。避難所や福祉避難所（母子）の運営スタッフに助産師が配置されなくても母子を支援できるように、マニュアルを作成し緊急時に活用できるよう希望致します。

また、福祉避難所（母子）における緊急時対応マニュアルの作成と共にスタッフ教育及び予算措置を希望します。

３．成長発達段階に応じた次世代育成の為の「いのちの教育」の講座の実施を図られたい。

（１）生・性（いのち）を語るエデュケーターの資格を持つ助産師により乳幼児の保護者と小中学生に命の大切さを伝える「いのちの授業」を実施されたい。
（２）「いのちの授業」の実施場所としておでかけひろば児童館等の講座に助産師を講師派遣できるよう図られたい。
（３）子育て支援にかかわるスタッフに成長発達段階に応じた次世代育成の為の「いのちの教育」の研修を図られたい。
（４）「いのちの授業」を行う助産師の養成を推進するために研修の実施について予算化されたい。

当会では、「いのちの授業」（命の大切さを伝える授業）を通して子どもの自尊心を高め、いのちを大切にする心を養うことに努めています。いのちとは？と考えることで多くの子どもの人権を守り、虐待防止、望まぬ若年妊娠予防、性被害防止に繋がると考えます。乳幼児の保護者向け講座で、いのちの教育「赤ちゃんからの性教育」を実施していますが、親が家庭教育の中で子どもに自分の命の大切さを教え、それを守り育てることができるようにとの趣旨の講座です。受講者からの評判は良く「このような話は誰も教えてくれなかった」「今聞いておいて良かった」などの感想も多く寄せられました。

性教育は意識することなく日常生活の中で始まっています。子どもはまわりの人から、

こころとからだを大切にしてもらう経験をする中で「自分のこころとからだは大切」という意識を育んでいます。それが性教育の大きな一歩となります。また、性を語ることの大前提として、語り合える関係作りが大切であり、小さい時からその関係ができていればからだの話、性の話も構えずできるようになると考えられます。つまり、親となった方にできるだけ早くからその事を伝える事でわが子に自信を持って性に関しても伝えられるようになると考えられます。

東京都助産師会では、「生・性（いのち）を語るエデュケーター」の東京都助産師会独自の認定資格者が「いのちの教育」に出向く形が整えられています。常にスキルアップ研修を実施し、社会状況に応じた内容を伝えられるよう研鑽を積んでいます。

早期より性教育を伝える役割として出生時から母と子とその家族に深く関わり、その後の発達段階においても性を身近に見ることができる助産師の活用を強く望みます。

また地域の子育て支援者にもこの講座を理解賛同していただけると一層効果が上がりますので支援者向け研修会を行うための予算措置を希望致します。

４．ＩＴを活用した母子支援の実施の指示、環境整備、ならびに予算措置を図られたい

（１）オンラインによる母子保健サービス事業においても支援提供側と with コロナ生活を送っている妊婦や子育て中の家族のインフラの整備を図られたい。

新型コロナウイルスの感染拡大の影響を受け、社会生活の変化に対応した母子保健サービスもオンラインでの提供に変化しました。

当会は、世田谷区子ども基金助成金事業を利用して【助産師による「せたがや無料オンライン相談」】を 4 か月間 26 日開催して 35 件の相談に対応しました。助産師が、with コロナ生活を送っている妊婦や子育て中の家族へ支援する経過で、子育て世代の家族のインフラ整備（中でも特に IT 環境）やメディアリテラシー教育の充実などの課題が浮かび上がりました。以下の 6 項目を示します。

① 母子保健サービス事業関連の通信量制限撤廃や無料化の措置、通信料軽減・無償化
②情報保護の研修
③テレワーク用通信機器導入の費用補助と運用就業規則・労使協定等の作成・変更
④労務管理担当者に対する研修及び子育て支援に関わる者に対する研修、周知・啓発
⑤Wi-Fi 環境が整っていない家庭に対する、LTE 通信環境（モバイルルータ）整備の支援

妊産婦が安心して子どもを産み子育てできる社会をつくるため、母子保健サービスに係る経済的負担の軽減を図られたいです。

＊IT　information technology（インターネットなどの通信とコンピュータとを駆使する情報技術。）